

## 目次

1. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を報告します
2. 西武新宿線沿線まちづくり整備方針(都立家政駅周辺地区編(案)及び鷺ノ宮駅周辺地区編(案))を作成しました
3. 新井薬師前及び沼袋の駅前地区では、新たな顔づくりのための勉強会を開催しています
4. 都市計画道路中野区画街路第4号線で検討している道路施設の一部を紹介します

## 1. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動を報告します

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟は、2004年1月に中野区民、中野区議会、中野区が一体となって、西武新宿線の踏切渋滞などを解消するために結成され、決起大会の開催や関係機関への要請活動を継続的に行っています。

2019年度の決起大会は、11月1日に野方区民ホールで開催しました。大会当日は、20の加盟団体や地域住民の皆様など200名を超える参加がありました。また、来賓として国会議員、都議会議員、東京都、西武鉄道株式会社、杉並区、杉並区まちづくり協議会の皆様にご出席いただきました。

決起大会では、西武新宿線の中井駅～野方駅間の連続立体交差事業と沿線まちづくりの状況等を報告しました。そして、踏切渋滞などを解消するために、①中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の着実な推進、②野方駅～井荻駅間の連続立体交差事業の早期実現、③連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業の安定した財源の確保の3点について、関係機関に働きかけていくことを決議し、会場の全員で「がんばろう」を唱和しました。

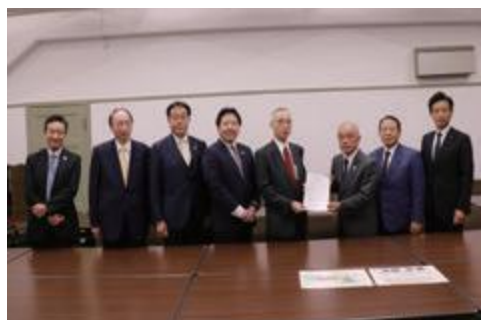
関係機関への要請活動では、期成同盟会長、中野区長、中野区議会議長が代表して、赤羽国土交通大臣、太田財務省主計局長、佐藤東京都技監、若林西武鉄道株式会社代表取締役を訪問し、要望書を手渡して、決起大会で決議した内容を直接伝えました。



決起大会で一致団結(2019年11月1日)



国土交通省にて(2019年12月6日)



財務省にて(2019年12月6日)



西武鉄道株式会社にて(2020年1月24日)



東京都にて(2020年1月24日)

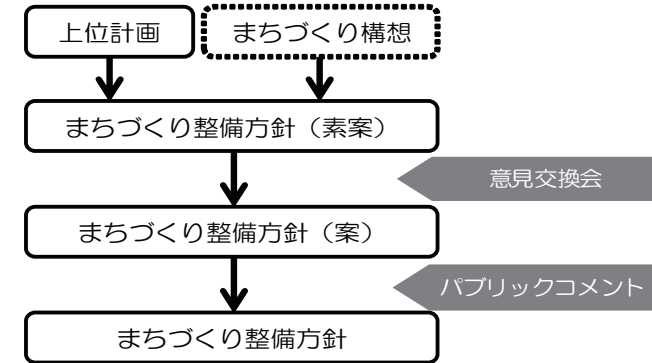
## 2. 西武新宿線沿線まちづくり整備方針（都立家政駅周辺地区編（案））及び鷺ノ宮駅周辺地区編（案））を作成しました

昨年10月に開催した整備方針（素案）に関する意見交換会で出された意見を踏まえて、「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（都立家政駅周辺地区編）（案）」及び「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（鷺ノ宮駅周辺地区編）（案）」を作成しました。

### <西武新宿線沿線まちづくり整備方針とは>

区の上位計画や検討会から提案された構想を踏まえて、これからの都立家政駅及び鷺ノ宮駅周辺地区の姿やまちづくりを具体的に進めて行くための方向付けを示すものです。

### まちづくり整備方針策定までの流れ



都立家政駅周辺地区まちづくり構想



鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり構想

### 都立家政駅周辺地区編（案）（概要）

※「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（案）」から抜粋

#### <目標とするまちの姿>

地域とともに歩む 幸せあふれるまち 都立家政

西武新宿線の連続立体交差事業を契機に、都立家政駅を中心とする都市基盤の整備と、日常生活に欠くことのできない商店街をもつ地区の特性を活かしたまちづくりを進め、補助第227号線整備と共に、人々が集い活動し交流する拠点や回遊性が生まれ、災害に強く、幸せあふれる暮らしのあるまちを目標とします。

#### <まちづくり整備方針>

「道路・交通機能の向上」「生活拠点の形成・生活利便性の向上」「防災性の向上」「良好な住環境の形成」の4つに分けてまちづくりの整備方針を示します。



### 鷺ノ宮駅周辺地区編（案）（概要）

※「西武新宿線沿線まちづくり整備方針（案）」から抜粋

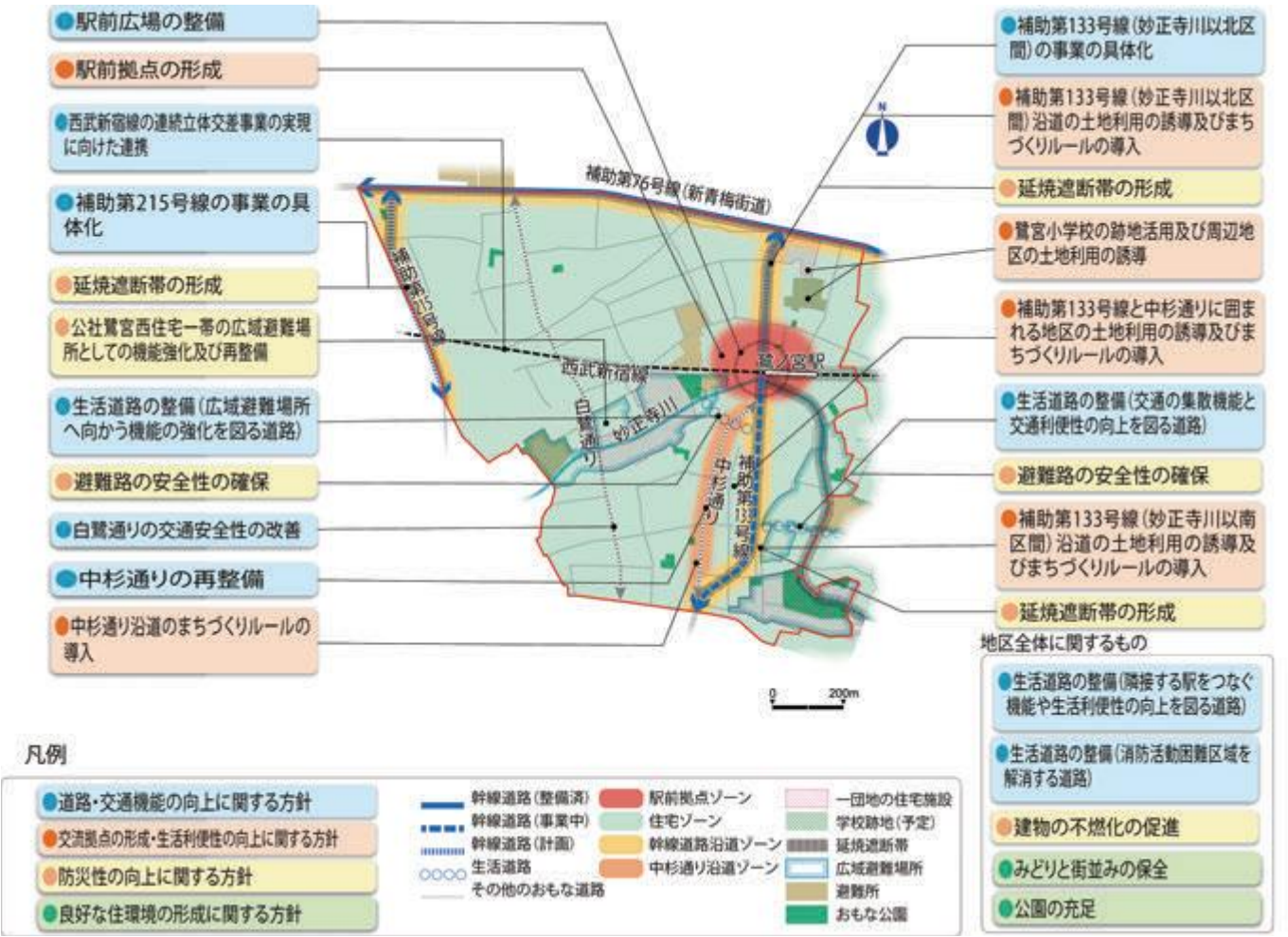
#### <目標とするまちの姿>

住みたい住み続けたいまち 鷺宮

西武新宿線の連続立体交差事業を契機に、鷺ノ宮駅を中心とする都市基盤の整備と、妙正寺川や豊かなみどりをもつ鷺ノ宮駅周辺地区の特性を活かしたまちづくりを進め、移動しやすく散策が楽しい拠点を抱え、災害に強くいつまでも暮らし続けられる魅力的な住環境があるまちを目標とします。

#### <まちづくり整備方針>

「道路・交通機能の向上」「交流拠点の形成・生活利便性の向上」「防災性の向上」「良好な住環境の形成」の4つに分けてまちづくりの整備方針を示します。



### 3. 新井薬師前及び沼袋の駅前地区では、新たな顔づくりのための勉強会を開催しています

新井薬師前及び沼袋の駅前地区では、西武新宿線の連続立体交差事業を契機として、新たな顔となる駅前のまちづくりを推進するため、土地・建物に権利をお持ちの方を対象に勉強会を実施しています。新井薬師前では、事例視察を行うなどして、事業の理解を深めると共に、参加者同士の関係強化を図っています。

沼袋では、勉強会が始まった段階ですが、変わりゆく駅前に望まれる新たな顔作りを行うため、どのような機能や施設があったら良いか活発な意見交換が行われており、これから会を重ねながら機運の醸成を図っていきます。



沼袋駅前地区の勉強会の様子

### 4. 都市計画道路中野区画街路第4号線で検討している道路施設の一部を紹介します

沼袋駅の西側に位置し、新青梅街道から妙正寺川に至る「都市計画道路区画街路第4号線」では、地域の実情・ニーズに即した、歩行者にやさしい道路にするための道路施設について検討を進めています。

#### <検討事例>

#### 歩道の連続化

本路線と接続する生活道路等との交差部を歩道化することで、**段差のない連続した歩行空間が出来ます。**



◀整備前

生活道路との交差部に  
段差あり

整備後▶

交差部を歩道化し、連続した歩行空間を確保

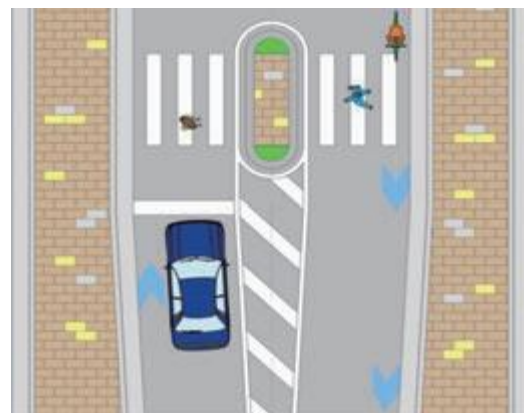


写真：東京都長期ビジョン～「世界一の都市・東京」の実現を目指して～（東京都）より引用

#### 二段階横断施設（交通島）

道路中央に二段階横断施設（交通島）を設置することで、**左右の交通を、片側ずつ確認し横断することができます。**

さらに、**車道の横断を二段階に分けるため、1回の横断距離が短くなり、横断歩行者の安全性が向上するとともに、自動車の停車を促す効果も期待でき、全ての歩行者にやさしい交通環境ができます。**



二段階横断施設（交通島）設置イメージ

その他必要な施設、規模や配置等についても現在検討を進めています。

#### <お問い合わせ>

中野区 まちづくり推進部 まちづくり計画課

TEL:03-3228-5463 FAX:03-3228-5417

E-MAIL: matidukurikeikaku@city.tokyo-nakano.lg.jp

※連続立体交差事業や沿線まちづくりについては、中野区ホームページで「西武新宿線沿線まちづくり」と検索するかQRコードを読み取るとご覧になれます。

